

# 「キャリア×STEAM」の学習による 新たな価値を創造できる資質・能力の育成

R7.02.12 第2回「探究の学び」推進会議

本校の研究についての詳しい情報はコチラから





## 1 これまでの取組を振り返って

## 2 カリキュラム編成に向けて

- ◆ 目指す生徒像を据える
- ◆ 全校研究テーマを据える
- ◆ 三つのアプローチに分ける
- ◆ 探究的な学習を具現する
- ◆ 学びの系統性を意識する

## 3 実践報告

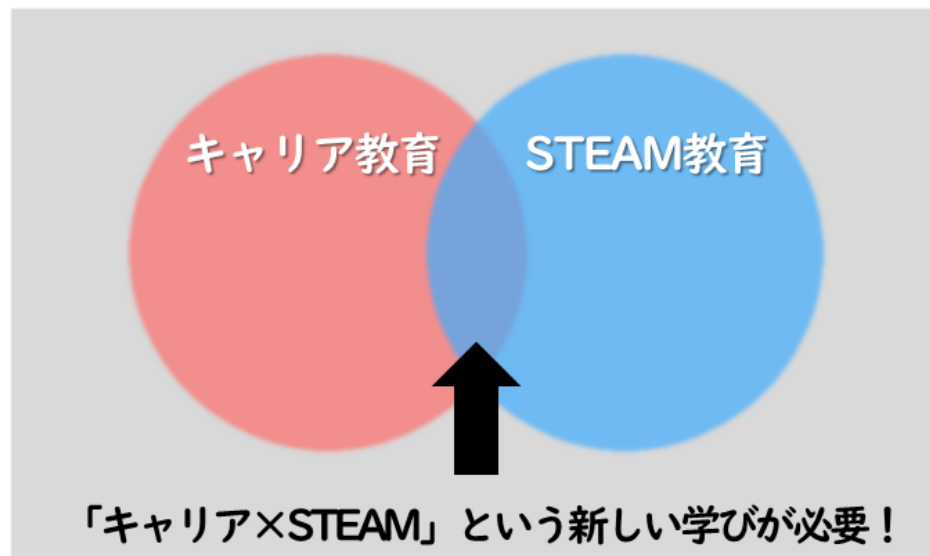
- ◆ I：教科・アプローチ（各教科等の授業）
- ◆ II：プル・アプローチ（あさひのラーニング）
- ◆ III：プッシュ・アプローチ（あさひのプロジェクト）

# これまでの取組を振り返って

目指す生徒の姿

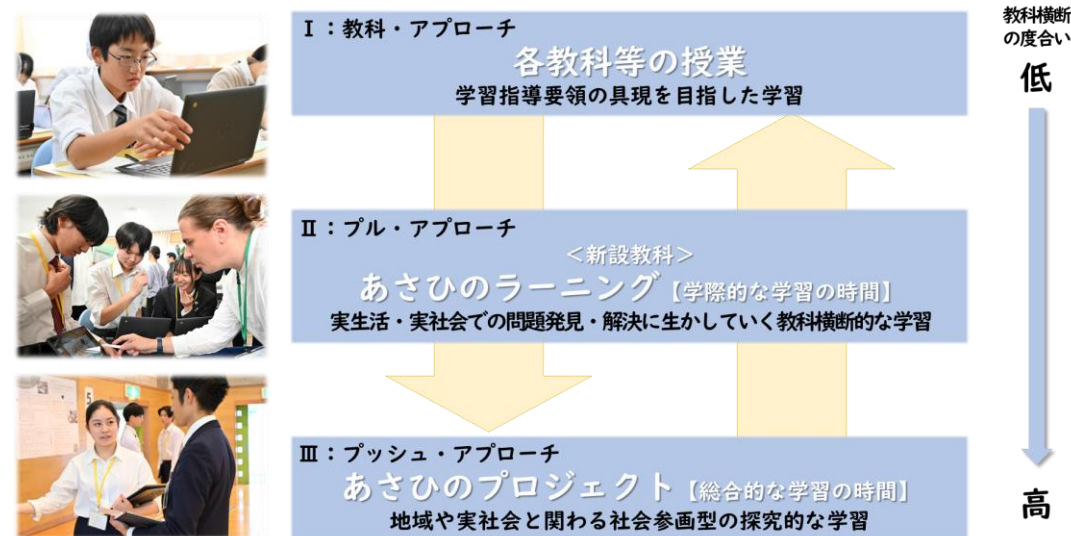
豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

明るい展望が見えづらいこれからの社会をよりよくしていこうと  
今の自分にできることに取り組んでいる生徒



① 「キャリア×STEAM」を捉える

② 三つのアプローチによるカリキュラムを編成する





# これまでの取組を振り返って

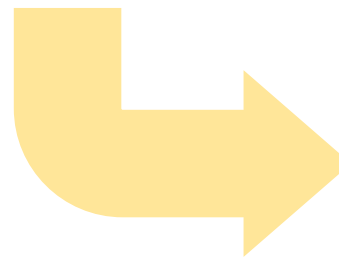
## ③ 「探究的な学習」を捉える

| 「探究」のレベル                                               | 問い | 手続 | 解法 |
|--------------------------------------------------------|----|----|----|
| 1. 確認のための探究<br>前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する          | ✓  | ✓  | ✓  |
| 2. 構造化された探究<br>与えられた手続きにしたがって、教師が示した問いについて実験する         | ✓  | ✓  |    |
| 3. 指導された探究<br>生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する | ✓  |    |    |
| 4. オープンな探究<br>生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。 |    |    |    |

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度化・自律化をめざすSDGs時代の人づくり—』（2022）より

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | 教科学習      |
| 2 | なし        |
| 3 |           |
| 4 | 総合的な学習の時間 |

教科はレベル1、総合はレベル4  
レベル2～3は位置付いていない



|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 1 | <div>教科学習</div> <div>総合的な学習の時間</div> |
| 2 |                                      |
| 3 |                                      |
| 4 |                                      |

教科でも総合でもレベル1～4が  
位置付いている

本来、探究は、総合的な学習の時間の授業だけでなく、教科の授業にも当てはまるはず

➡ レベル1～4の探究が位置付いている学習が探究的な学習である



# これまでの取組を振り返って

## ④「探究的な学習」を実践する



各教科等の授業の姿



あさひのラーニングの姿



あさひのプロジェクトの姿

### <実践から見えてきたこと>

- |                 |   |                        |
|-----------------|---|------------------------|
| ・生徒が「問い」をもつ     | → | <b>「探究」の質の向上</b>       |
| ・生徒も教師もチームで活動する | → | <b>多様な他者と協働することの価値</b> |
| ・「探究」を支える見方・考え方 | → | <b>各教科等の授業の重要性</b>     |



# 令和6年度の附属長野中の学習の様子

6





# 令和6年度の附属長野中の学習の様子

7



笑顔で募金と呼び掛ける清水さん(写真左)

病氣と闘う子どもたちの存在を知って  
信大付属長野中3年生チームが募金活動

信大付属長野中学校の3年生は、10月14日、同校開校40周年記念行事の一環として、小坂町にある「レモネード」の募金活動を行いました。この活動は、病氣と闘う子どもたちの存在を知り、彼らのために募金活動を行うという目的で開催されました。清水さんは、病氣と闘う子どもたちの存在を知り、彼らのために募金活動を行うという目的で開催されました。清水さんは、病氣と闘う子どもたちの存在を知り、彼らのために募金活動を行うという目的で開催されました。

リーダーの清水愛子さん  
自らの闘病体験 糧に  
「レモネード」に思い込め

週刊長野(2024年11月23日)



参加者と詐欺対策を議論する生徒

信大付属中生徒が講習会  
特殊詐欺防止を啓発

信大付属長野中学校の3年生2人が9月18日、探究の授業の一環で特殊詐欺をテーマにした講習会を西尾支部のかがやまひろば三陽(三陽老人福祉センター)で開いた。特殊詐欺被害防止の活動を展開している長野市内の男性有志グループ「ながの男の脳鳴俱樂部」(のうのうめい)のメンバーが講師を務めた。2人は春日博登(ひろのり)さんと石橋太(たけ)しゅうた)さん、グループ別に学習探究の授業で本年度、他の生徒3人と共に特殊詐欺被害防止の啓発活動を選択。長野中央署の協力で街頭啓発を4回

長野市民新聞(2024年10月1日)



参加者と車いすバスケットを体験する生徒(手前右)ら

車いすバスケット 楽しもう

信大付属長野中生が体験会を企画

長野市の信大付属長野中学校の3年生14人が9日、車いすバスケットボールの体験会を開いた。障害者スポーツの認知向上と社会参加を目指し、企画と運営を担った。体験会には市内の小中学生14人が参加。生徒は車いすの操作方法を教え、競技の魅力を伝えた。

共生社会 実現目指し

この日の体験会は、信州大学の学生が中心となり、社会的学習の時間「あそびのプロジェクト」の一環として開催された。授業は地域活性化のテーマに準じてチームに分かれて学んでいる。大半がバスケット経験者だったチームは、車いすバスケットの体験を楽しんだ。

この日の体験会は、信州大学の学生が中心となり、社会的学習の時間「あそびのプロジェクト」の一環として開催された。授業は地域活性化のテーマに準じてチームに分かれて学んでいる。大半がバスケット経験者だったチームは、車いすバスケットの体験を楽しんだ。

信濃毎日新聞(2024年11月10日)



信大付属長野中生 協力し開発中 ハーゲンダッツ社  
リンゴとアイス 特製パフェ



完成した焼きリンゴパフェの出来栄を見て鈴木さん(右)と改善点を話し合う生徒たち

信大付属長野中学校(長野市)の生徒たちがハーゲンダッツジャパン(東京都)と協力し、同社のアイスクリームと信州のリンゴを組み合わせたアレンジレシピを開発している。高級だが居るイメージがある「ハーゲンダッツ」を身近に感じたいと、同校が同社と開発を企画。話合う中リンゴの用が決まった。レシピは公開し、県内のスーパーで販売する予定だ。

県内スーパーでレシピ公開へ

社会貢献をテーマにした楽しい食べ方。長野県、長野市、信大付属長野中学校の探究の一環として、信大付属長野中学校の生徒たちがハーゲンダッツジャパン(東京都)と協力し、同社のアイスクリームと信州のリンゴを組み合わせたアレンジレシピを開発している。高級だが居るイメージがある「ハーゲンダッツ」を身近に感じたいと、同校が同社と開発を企画。話合う中リンゴの用が決まった。レシピは公開し、県内のスーパーで販売する予定だ。

信濃毎日新聞(2024年7月17日)

# 令和6年度の附属長野中の学習の様子

グランドデザインに示す数値目標の**すべてのポイントが上昇した\***

| 質問項目                                          | 令和4年度 | 令和5年度<br>(前年比)   | 令和6年度<br>(前年比)   |
|-----------------------------------------------|-------|------------------|------------------|
| 自分にはよいところがありますか。<br>(数値目標:9割)                 | 89.1% | 85.5%<br>(-3.6)  | 92.3%<br>(+6.8)  |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。<br>(数値目標:8割) | 54.7% | 62.2%<br>(+9.5)  | 77.9%<br>(+13.7) |
| 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。<br>(数値目標:7割)        | 72.7% | 83.2%<br>(+10.5) | 85.6%<br>(+2.4)  |

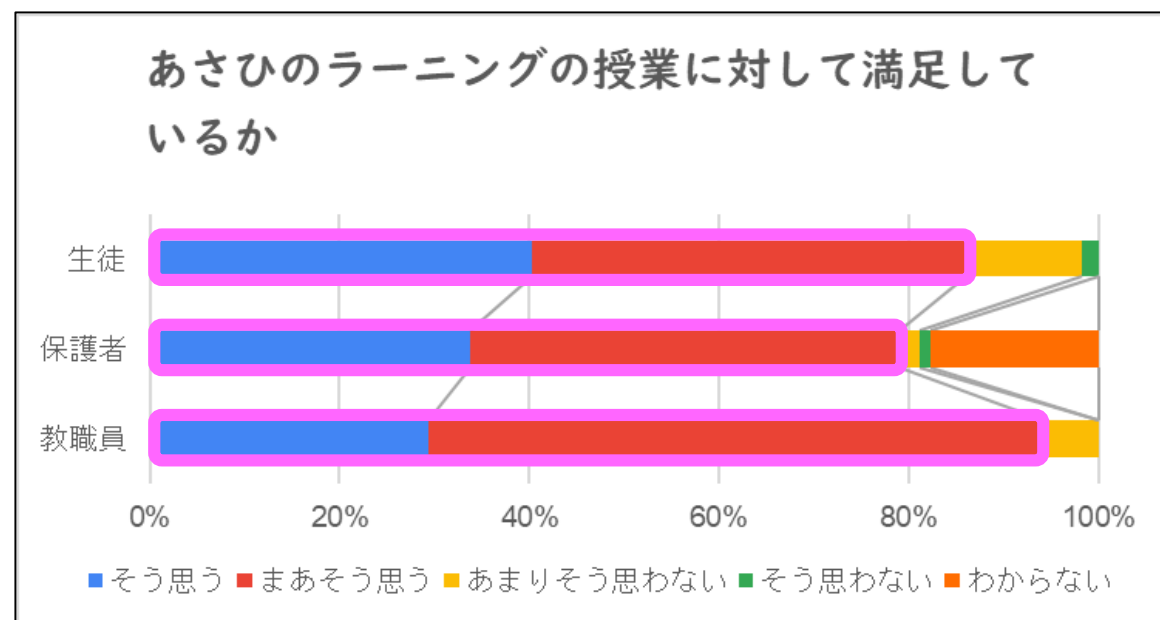
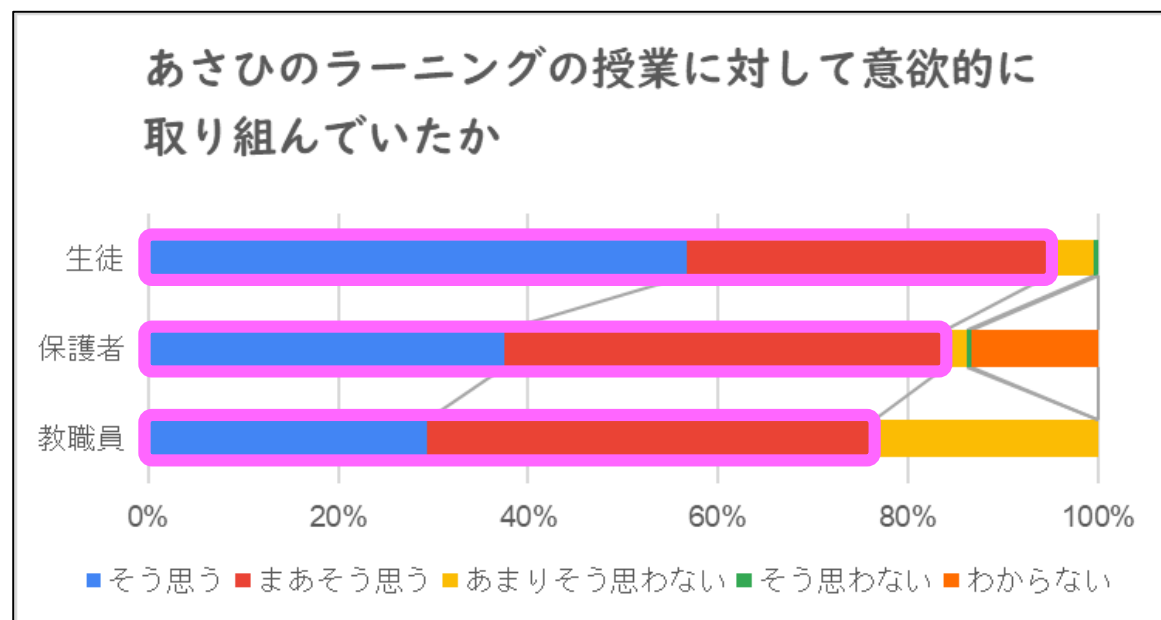
\*「学びの指標」アンケート結果（全校・12月実施）より算出



# 令和6年度の附属長野中の学習の様子

＜新設教科＞あさひのラーニングに対するアンケート調査において  
生徒、保護者、教職員のすべてで**肯定的回答が7割以上\***

○あさひのラーニングの授業に意欲的に取り組んだ 生徒9割 保護者8割 教職員7割  
○あさひのラーニングの授業に満足している 生徒8割 保護者7割 教職員9割



\* アンケート結果（生徒・保護者・教職員・1月実施）より算出

## 1 これまでの取組を振り返って

## 2 カリキュラム編成に向けて

- ◆ 目指す生徒像を据える
- ◆ 全校研究テーマを据える
- ◆ 三つのアプローチに分ける
- ◆ 探究的な学習を具現する
- ◆ 学びの系統性を意識する

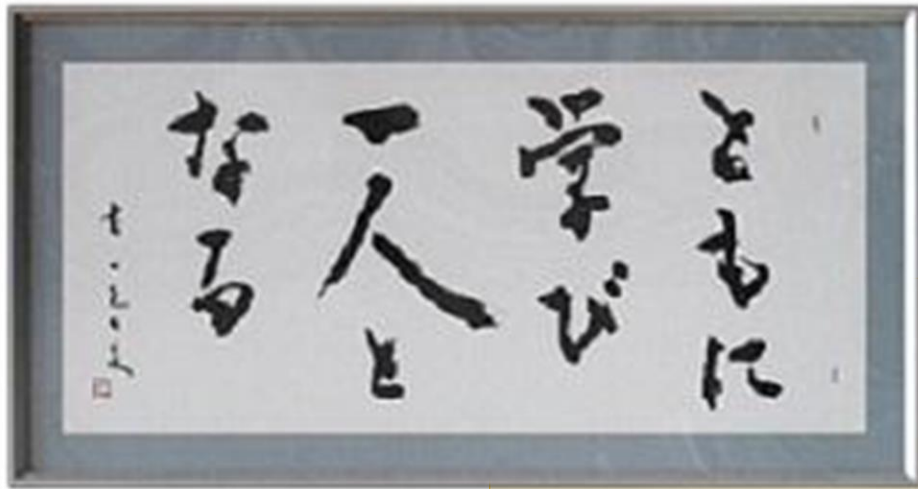
## 3 実践報告

- ◆ I：教科・アプローチ（各教科等の授業）
- ◆ II：プル・アプローチ（あさひのラーニング）
- ◆ III：プッシュ・アプローチ（あさひのプロジェクト）

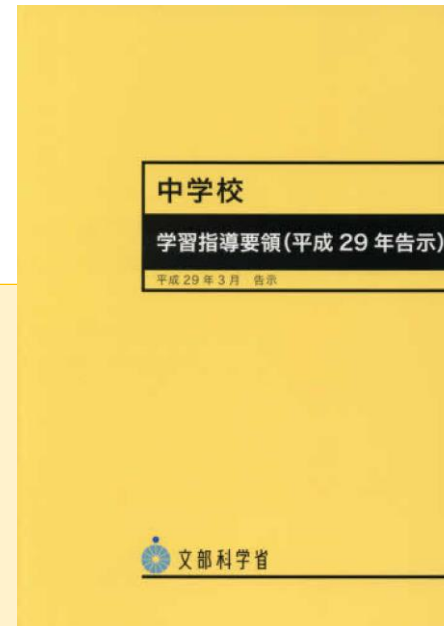


# 目指す生徒像を据える

## 附属長野中学校 学校教育目標



## 文部科学省 学習指導要領



## 長野県 教育振興計画



目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

# 目指す生徒像を据える

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

教師の願い



主体的に社会に働きかける  
姿勢をもってほしい

生徒の思い



自分には自信がなかったり  
自分にはできないと思う



# 目指す生徒像を据える

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

明るい展望が見えづらいこれからの社会をよりよくしていこうと  
今の自分にできることに取り組んでいる生徒



各教科等の授業の姿



あさひのラーニングの姿



あさひのプロジェクトの姿

## 【新たな価値を創造できる資質・能力】

「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした汎用的スキル

### ア 問題発見・解決能力

（各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと）

### イ 批判的思考力

（多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと）

### ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力

（自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなどすること）





## キャリア教育



社会的・職業的自立に  
向けて必要な基盤となる  
資質・能力を育成する学び

## STEAM教育



教科の枠を超えて  
実生活・実社会の諸課題  
(正解のない問い、最適解・納得解など)  
を解決する学び

キャリア教育

STEAM教育

「キャリア×STEAM」という新しい学びが必要！



目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

## 【新たな価値を創造できる資質・能力】

研究紀要 P.10～15

「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした汎用的スキル

ア 問題発見・解決能力

(各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと)

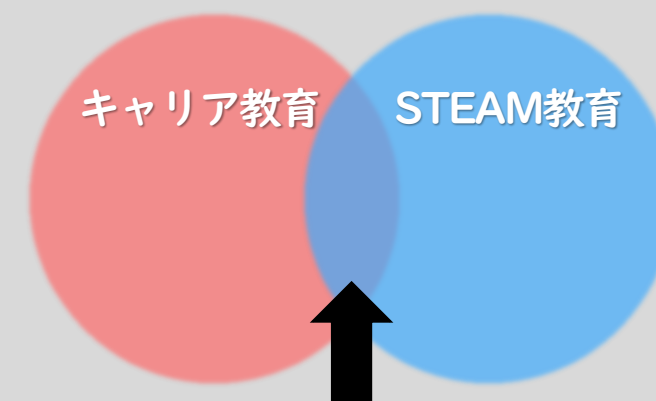
イ 批判的思考力

(多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと)

ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、  
社会に生かそうとしたりする力

(自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、  
社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなどすること)

研究紀要 P.24～27



「キャリア×STEAM」という新しい学びが必要！

キャリア教育とSTEAM教育を軸にした新たな学び「キャリア×STEAM」

全校研究  
テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による

新たな価値を創造できる資質・能力の育成

# 三つのアプローチに分ける

研究紀要 P.18~19

18



## I : 教科・アプローチ

研究紀要 P.28~29

### 各教科等の授業

学習指導要領の具現を目指した学習



## II : プル・アプローチ

研究紀要 P.22~23  
P.30~33

<新設教科>

### あさひのラーニング【学際的な学習の時間】

実生活・実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学習



## III : プッシュ・アプローチ

研究紀要 P.34~37

### あさひのプロジェクト【総合的な学習の時間】

地域や実社会と関わる社会参画型の探究的な学習

教科横断  
の度合い

低

高



# 新しい教科を創造する

令和6年度より

文部科学省「教育課程特例校」の指定校として、新設教科を全学年で実施

＜新設教科＞

あさひのラーニング  
(学際的な学習の時間)

年間35週で履修できるように組んだ計画を  
年間33週で履修できるように計画を組み直し、  
生み出される2週分で運用する

全学年、通年で実施  
(教科の評価には反映しない)

| 教科                      | 1 学年    | 2 学年    | 3 学年    |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| 国 語                     | 132(-8) | 132(-8) | 100(-5) |
| 社 会                     | 100(-5) | 100(-5) | 132(-8) |
| 数 学                     | 132(-8) | 100(-5) | 132(-8) |
| 理 科                     | 100(-5) | 132(-8) | 132(-8) |
| 音 楽                     | 44(-1)  | 34(-1)  | 34(-1)  |
| 美 術                     | 44(-1)  | 34(-1)  | 34(-1)  |
| 保健体育                    | 100(-5) | 100(-5) | 100(-5) |
| 技術・家庭                   | 66(-4)  | 66(-4)  | 34(-1)  |
| 外 国 語                   | 132(-8) | 132(-8) | 132(-8) |
| 道 徳                     | 35(-0)  | 35(-0)  | 35(-0)  |
| 総合的な学習の時間<br>あさひのプロジェクト | 50(-0)  | 60(-10) | 60(-10) |
| 特別活動                    | 35(-0)  | 35(-0)  | 35(-0)  |
| 学際的な学習の時間<br>あさひのラーニング  | 45      | 55      | 55      |

# 新しい教科を創造する

## <日課の工夫>

| 活動        | 時間                  | 月                         | 火                   | 水                                                                                                             | 木                   | 金     |
|-----------|---------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------|
| 教室入室 7:55 |                     |                           |                     |                                                                                                               |                     |       |
| 短学活       | 8:00～ 8:10          | 朝の学活（学年集会等 7:55～）         |                     |                                                                                                               |                     |       |
| 1         | 8:20～ 9:10          | 1                         | 6                   | 11                                                                                                            | 14                  | 20    |
| 2         | 9:20～10:10          | 2                         | 7                   | 12                                                                                                            | 15                  | 21    |
| 3         | 10:20～11:10         | 3                         | 学級活動                | 道 徳                                                                                                           | 16                  | 22    |
| 4         | 11:20～12:10         | 4                         | 8                   | 13                                                                                                            | 17                  |       |
| 給食<br>昼休み | 12:10～13:10         | 休憩時間（昼食）※7時間日課は昼学活        |                     |                                                                                                               |                     |       |
| 5         | 13:10～14:00         | 5                         | 9                   | 【探究の時間】<br>あさひの Learning<br>（学理的な学習の時間）<br>※教育課程特別校制度適用<br>あさひのプロジェクト<br>（総合的な学習の時間）<br>（150'）<br>13:10～15:40 | 18                  | 24    |
| 6         | 14:10～15:00         |                           | 10                  |                                                                                                               | 19                  | 25    |
| 清掃（7）     | 14:10～<br>14:25(15) | A B C<br>15:10～<br>15:40  | 15:10～<br>15:20(10) |                                                                                                               | 15:10～<br>15:20(10) |       |
| 短学活（7）    | 14:35～<br>14:50(15) | A：全校集会<br>B：学友会<br>C：学習相談 | 15:30～<br>15:40(10) |                                                                                                               | 15:30～<br>15:40(10) |       |
| 一般下校時刻    |                     | 15:00                     | 15:50               | 15:50                                                                                                         | 15:50               | 15:50 |
| 諸活動       | 16:00～16:50         |                           | 部活動<br>学友会活動        |                                                                                                               | 部活動<br>学友会活動        |       |
| 完全下校時刻    |                     | 15：00                     | 17:00               | 15:50                                                                                                         | 17:00               | 15:50 |

毎週水曜日の午後日課  
（2.5時間分）を全て  
**探究の時間**と設定する



あさひのラーニングと  
あさひのプロジェクト  
を学年単位で運用する

様々な分野の専門家  
からの講演を通して  
生徒の探究心を育む

## <外部講師による講演会>

信州大学 教育学部 附属長野中学校  
長野県教育委員会「学びの改革パイオニア校」～「探究」推進のための研究～指定校（2年次）  
文 部 科 学 省「教育課程特別校」指定校（1年次）

令和6年度  
新教科 あさひのラーニング  
講座学習（講演会）のお知らせ

参加 無料 事前 申込制

会場 信州大学教育学部附属長野中学校\* 定員 制限なし

申込方法 本校HPもしくは 右記のQRコードより 申込締切 開催日の前日まで 申込QRコード

\*本年度、会場となる本校体育館が改修工事のため、一般参加者の皆様には、講演会の様子をオンデマンド配信いたします

第1弾 #キャリア講座 #対面開催\* #オンデマンド配信  
10年後の社会の未来像を描けますか？  
～地元会社も「わくわくする未来」を考えて働いています！～  
●日時：6/26（水）13:10～14:00  
●講師：株式会社牛越製作所 代表取締役 牛越弘彰氏

第2弾 #探究講座 #オンライン開催\* #オンデマンド配信  
探究って仕事になるんですか？  
～料理は世界を知る窓～  
●日時：9/11（水）13:10～14:00  
●講師：世界の台所探検家 岡根谷美里氏

第3弾 #STEAM講座 #ハイブリット開催\* #オンデマンド配信  
昆虫の知能はAIを超えるか？  
～ファール昆虫記のなぞに迫る～  
●日時：10/2（水）14:10～15:40  
●講師：東京大学名誉教授 先端研シニアリサーチフェロー 神崎亮平氏

第4弾 #キャリア講座 #ハイブリット開催\* #オンデマンド配信  
なぜ社会奉仕を実践し続けるのか？  
～中学生が社会奉仕に参画する意義～  
●日時：11/13（水）13:10～14:00  
●講師：長野白樺ライオンズクラブ・朝陽野レオクラブ

第5弾 #STEAM講座 #ハイブリット開催\* #オンデマンド配信  
水を安全に変えることが未来につながる？  
～信大クリスタルが拓く新しい未来～  
●日時：1/22（水）13:10～14:00  
●講師：信州大学アクア・リジェネレーション機構 機構長／卓越教授 手嶋勝弥氏



# 探究的な学習を具現する

研究紀要 P.18~19

21



## I : 教科・アプローチ

研究紀要 P.28~29

### 各教科等の授業

学習指導要領の具現を目指した学習



## II : プル・アプローチ

研究紀要 P.22~23  
P.30~33

<新設教科>

### あさひのラーニング【学際的な学習の時間】

実生活・実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学習



## III : プッシュ・アプローチ

研究紀要 P.34~37

### あさひのプロジェクト【総合的な学習の時間】

地域や実社会と関わる社会参画型の探究的な学習

教科横断  
の度合い

低

高

# 探究的な学習を具現する

| 「探究」のレベル                                               | 問い | 手続 | 解法 |
|--------------------------------------------------------|----|----|----|
| 1. 確認のための探究<br>前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する          | ✓  | ✓  | ✓  |
| 2. 構造化された探究<br>与えられた手続きにしがって、教師が示した問いについて実験する          | ✓  | ✓  |    |
| 3. 指導された探究<br>生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する | ✓  |    |    |
| 4. オープンな探究<br>生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。 |    |    |    |

探究は、いわゆる「身近で切実な問題」を契機に開始され、探究者本人の実感の伴う納得によって終結する

(下線：本校)

※奈須正裕『子供のための授業づくり』(内外教育 令和6年3月号)より

探究的な学習となる「問い」を立てることは重要かつ難しいことである

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度化・自律化をめざすSDGs時代の人づくり—』(2022)より



# 探究的な学習を具現する

| 「探究」のレベル                                               | 問い | 手続 | 解法 |
|--------------------------------------------------------|----|----|----|
| 1. 確認のための探究<br>前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する          | ✓  | ✓  | ✓  |
| 2. 構造化された探究<br>与えられた手続きにしたがって、教師が示した問いについて実験する         | ✓  | ✓  |    |
| 3. 指導された探究<br>生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する | ✓  |    |    |
| 4. オープンな探究<br>生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。 |    |    |    |

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度化・自律化をめざすSDGs時代の人づくり—』（2022）より

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | 教科学習      |
| 2 | なし        |
| 3 |           |
| 4 | 総合的な学習の時間 |

教科はレベル1、総合はレベル4  
レベル2～3は位置付いていない



|   |           |      |
|---|-----------|------|
| 1 | 総合的な学習の時間 | 教科学習 |
| 2 |           |      |
| 3 |           |      |
| 4 |           |      |

教科でも総合でもレベル1～4が  
位置付いている

本来、探究は、総合的な学習の時間の授業だけでなく、教科の授業にも当てはまるはず

➡ レベル1～4の探究が位置付いている学習が探究的な学習である

**「探究の方法論」**が身につけば、教科の授業でも総合的な学習の時間の授業でも**探究的な学習**になり得る

# 探究的な学習を具現する

## <探究の方法論の捉え>

- ・ 各教科等の見方・考え方の働かせ方 (教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方)  
→ 探究的な見方・考え方の働かせ方 (各教科等の見方・考え方を総合的に働かせる方法)
- ・ 問いの立て方 (単元や題材の学習問題の設定の仕方)  
→ すぐに答えが見つからない問い (リサーチクエスチョン\*) の立て方
- ・ 仮説の仕方、予想の仕方、見通しのもち方 (学習課題の据え方)  
ニーズ調査・問題定義・アイディア発想・プロトタイプ作製の仕方  
(デザイン思考\*\*の活用の仕方)  
→ 問題発見・解決の仕方 (探究の学習の過程や方法)

\* リサーチクエスチョン…調査・実験が必要な、

すぐに答えが見つからない自分が解決したい問い

\*\* デザイン思考…正解のない状況で自ら課題を設定し、解決策を考えていく思考法



# 探究的な学びを具現する

| 「探究」のレベル                                               | 問い | 手続 | 解法 |
|--------------------------------------------------------|----|----|----|
| 1. 確認のための探究<br>前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する          | ✓  | ✓  | ✓  |
| 2. 構造化された探究<br>与えられた手続きにしたがって、教師が示した問いについて実験する         | ✓  | ✓  |    |
| 3. 指導された探究<br>生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する | ✓  |    |    |
| 4. オープンな探究<br>生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。 |    |    |    |

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度な学びを促すSDGs時代の人づくり—』(2022)より

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | 教科学習      |
| 2 | なし        |
| 3 |           |
| 4 | 総合的な学習の時間 |

教科はレベル1、総合はレベル4  
レベル2～3は位置付いていない

|   |           |
|---|-----------|
| 1 | 教科学習      |
| 2 | 総合的な学習の時間 |
| 3 |           |
| 4 | 総合的な学習の時間 |

教科でも総合でもレベル1～4が  
位置付いている

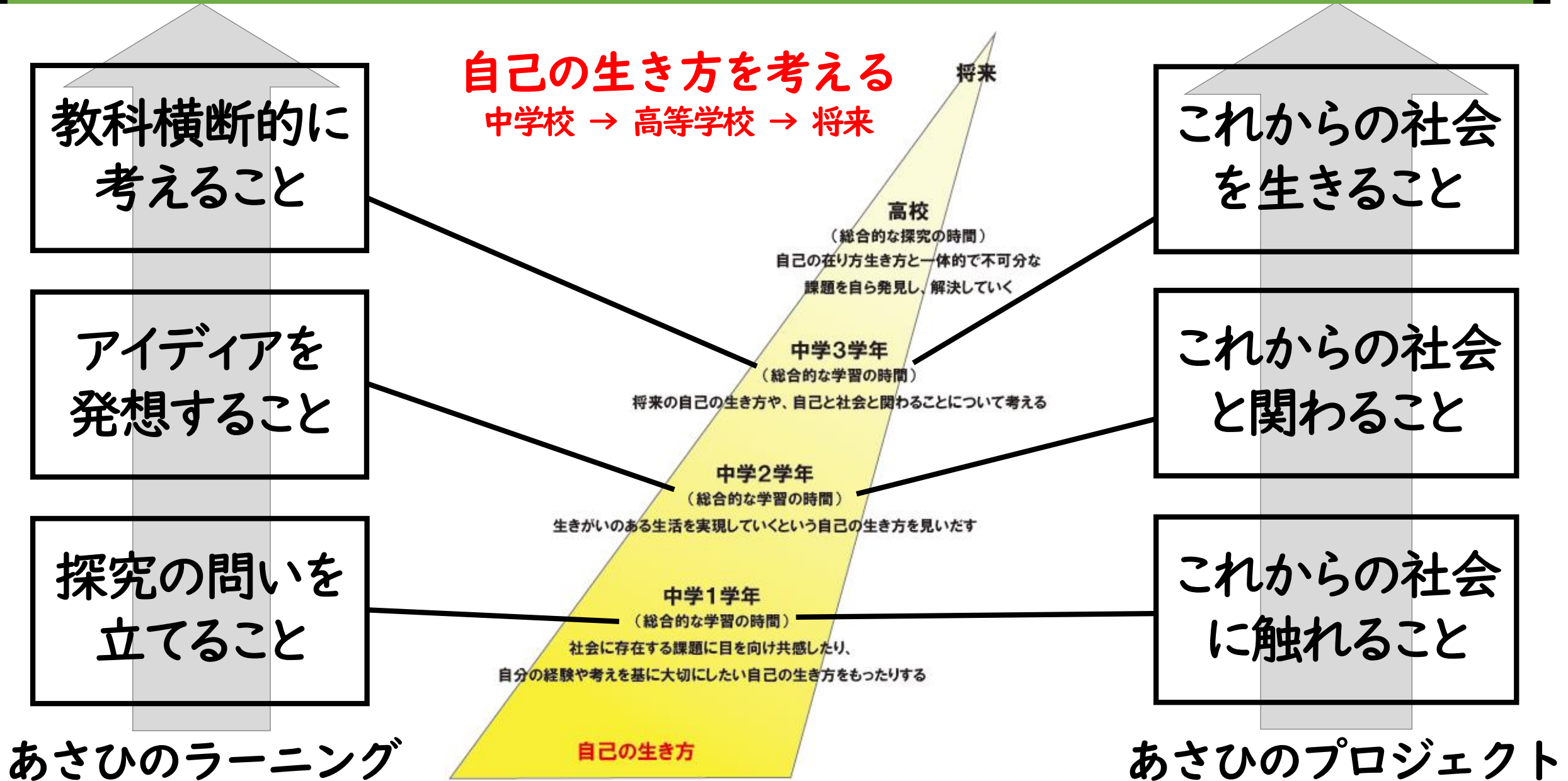
「探究の方法論」の習得・活用の授業（レベル2～3に相当）を、**新設教科  
あさひのラーニングの授業で実践**

<1学年の例> リサーチクエスチョンを活用した探究の問いの立て方（レベル2）

<2学年の例> デザイン思考を活用したアイディア発想の仕方（レベル2）

<3学年の例> 教科横断型の授業を通した新しい価値の創造（レベル2～3）

# 学びの系統性を意識する





# 学びの系統性を意識する

研究紀要 P.34～37

27

|                                                       | 4                                                   | 5                | 6               | 7                                  | 8 | 9                              | 10                          | 11                              | 12                       | 1                           | 2                | 3                     |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------|-----------------|------------------------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|--------------------------|-----------------------------|------------------|-----------------------|
| 学校行事等<br>公開・研修会関係 教育実習                                | 入学式<br>学友総会①<br>3年宿泊行事                              | 教科研修会Ⅰ<br>1年宿泊行事 | 教育実習Ⅰ           | 教科研修会Ⅱ<br>H・W<br>保護者懇談会            |   | 教育実習Ⅰ<br>教育実習Ⅱ                 | 中学校<br>教育研究会<br>学習発表会       | PTA、バザー<br>学友会選挙                | 保護者懇談会<br>学友総会②          | 長野県連合<br>教科研究会              |                  | 送別音楽会<br>学友総会③<br>卒業式 |
| 異学年交流・成果発表会                                           |                                                     |                  | 情報交換会<br>(1・3年) | 成果発表会①<br>(2・3年)                   |   | 情報交換会<br>(2・3年)                | →                           | 実践交流会<br>(ワークショップ)<br>(成果発表交流会) | 成果発表会②<br>(1・3年)         | 情報交換会<br>(1～3年)             | 成果発表会③<br>(1・2年) |                       |
| 講座学習<br>(授業・講演会・座談会)                                  |                                                     |                  | 講演会①            |                                    |   | 講演会②                           | 講演会③                        | 講演会④                            |                          | 講演会⑤                        |                  |                       |
|                                                       | STEAM、デザイン思考、社会人基礎力、質問力・プレゼン力、ビジネスマナーなどに関する講座【20時間】 |                  |                 |                                    |   |                                |                             |                                 |                          |                             |                  |                       |
| 3 学年<br>あさひのラーニング<br>【計55時間】<br>あさひのプロジェクト<br>【計60時間】 | テーマ学習【15時間】「AIと人類の共存」                               |                  |                 |                                    |   |                                | ユニット学習【10時間】1～2 単元（STEMなど）  |                                 |                          |                             |                  |                       |
|                                                       | 講座学習【10時間】「STEAM・探究講座」「キャリア講座」                      |                  |                 |                                    |   |                                |                             |                                 |                          |                             |                  |                       |
|                                                       | これからの社会を生きる私<br>(第2期)【50時間】                         |                  |                 |                                    |   |                                |                             |                                 |                          | これからの社会を生きる私<br>(第3期)【10時間】 |                  |                       |
| 2 学年<br>あさひのラーニング<br>【計55時間】<br>あさひのプロジェクト<br>【計60時間】 | テーマ学習【5 時間】「2040年問題と私」                              |                  |                 |                                    |   | テーマ学習【10時間】<br>「あったらいいな、こんなもの」 |                             |                                 | ユニット学習【5 時間】1 単元（STEMなど） |                             |                  |                       |
|                                                       | 講座学習【10時間】「キャリア講座」                                  |                  |                 |                                    |   | 講座学習【5 時間】「STEAM・探究講座」         |                             |                                 |                          |                             |                  |                       |
|                                                       | これからの社会と関わる私<br>【20時間】                              |                  |                 |                                    |   | これからの社会を生きる私<br>(第1期)【40時間】    |                             |                                 |                          |                             |                  |                       |
| 1 学年<br>あさひのラーニング<br>【計45時間】<br>あさひのプロジェクト<br>【計50時間】 | テーマ学習【10時間】<br>「持続可能な社会と私」                          |                  |                 | 講座学習【15時間】<br>「STEAM・探究講座」「キャリア講座」 |   |                                |                             |                                 |                          |                             |                  |                       |
|                                                       | これからの社会に触れる私<br>(第1期)【40時間】                         |                  |                 |                                    |   |                                | これからの社会に触れる私<br>(第2期)【10時間】 |                                 |                          |                             |                  |                       |

## 1 これまでの取組を振り返って

## 2 カリキュラム編成に向けて

- ◆ 目指す生徒像を据える
- ◆ 全校研究テーマを据える
- ◆ 三つのアプローチに分ける
- ◆ 探究的な学習を具現する
- ◆ 学びの系統性を意識する

## 3 実践報告

- ◆ I：教科・アプローチ（各教科等の授業）
- ◆ II：プル・アプローチ（あさひのラーニング）
- ◆ III：プッシュ・アプローチ（あさひのプロジェクト）



## 生徒の「問い」や「願い」から学びが始まる授業づくり



- ・ 生徒と事象との出会いの場面の工夫
- ・ 授業中で適切な集団や場面で対話の機会を設ける



## 生徒の「問い」や「願い」から学びが始まる授業づくり



- ・ 授業を見合ったり、生徒の学びを共有し合ったりする  
雰囲気づくり
- ・ 授業を共につくる雰囲気づくり

# 5・7月 教科研修会 I・II (教科学習 公開授業)

31



- ・ 1～2年目の教諭が授業公開
- ・ 参加者は主に大学生、大学院生、現職教諭、など
- ・ 懇談会では、授業づくりについての情報交換（指導者のご指導を含む）



授業の詳細はコチラ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/naga-chu/workshop/cat19986/post-16.html>



# 授業づくりで心掛けたいこと

## 授業がもっとよくなる3観点

※ 令和6年度教育課程編成・学習指導の基本「青本」より

### ねらいを明確に

学習問題(課題)を黒板等に分かりやすく示しましょう

- 第一に、本時の到達目標でもあるねらいを明確にして授業に臨みます。ねらいが不明瞭であると、導入段階で子供が課題を把握するのに時間を費やしてしまいます。課題把握がスムーズにできるよう本時の展開の構想を明らかにしておきましょう。
- 子供が、「なぜ?」「どうして?」という問題意識や、「やってみたい!」「何とかしたい!」など追究意欲をもてるよう工夫し、子供と共に学習課題を設定しましょう。



**【学習問題】**は  
生徒の問いや願いに  
なっているか?

### めりはりをつけて

触れて・関わって・考えて・感じて学ぶ場面をつくりましょう

- 第二に、学習内容にめりはりをつけることです。触れて学ぶ場面、関わって学ぶ場面、考えて学ぶ場面、感じて学ぶ場面を位置付けることで、実感的な理解が可能となります。学習内容に応じて授業の流れにどのようなめりはりをつけていくか、教材研究を十分に行いましょう。
- 関わって学ぶ場面では、子供たち自身が多様な考えを組み合わせ、自己の考えを広げたり深めたりすることができるように課題を設定しましょう。



**【学習課題】**は  
生徒の必要感のあるもの  
なっているか?

### ねらいの達成を見とどけて

見返しや、定着・発展問題を行う時間をとりましょう

- 第三に、授業の終末では、ねらいの達成を確実に見とどける必要があります。本時のねらいは達成されたのか、ノート等の記述や定着問題等から具体的に評価します。
- 皆で追究を見返し、子供の言葉で本時習得すべき内容をまとめる、その内容を活用して定着・発展問題を行う時間を確保して個々の子供の実態を把握する、補充的な学習が必要な子供には個別指導をていねいに行い、その時間内で学習内容を定着させることなどを大切にしましょう。



**【振り返り】**で  
生徒は自己の学びを  
自覚できているか?

# 授業づくりで心掛けたいこと

## 授業の中身は「主眼」で示す

※ 学習指導要領を踏まえた教育家庭学習指導の手引「信州教育の学びの基盤」より

### ① 何ができるようになるか

目標を明確にすることが大切です。主眼の末尾をどう記述するか、検討することが大切です。「考えることができる」「理解することができる」「意欲を高める」など、その1時間（単元）でどのような資質・能力を育てるのか、「つける力」をきちんと決め出すことが大切です。

主眼の末尾【評価】  
「～することができる。」



育成したい資質・能力

### ③ どのように学ぶか

「どのように学ぶか」の学習活動は、指導案の中では、多くは主眼の「～の活動を通して」の部分に記述されます。問題解決の過程を児童・生徒が主体的に取り組めるようにする必要があります。子供が興味・関心を高め、自分と結び付け、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげることが大切です。見通しをもって追究するためには、児童生徒の予想や解決の見通しを基に、児童生徒とともに学習課題を設定していくことが大切です。

主眼の活動【学習課題】  
「～の活動を通して、」



各教科等の「見方・考え方」  
が働いている活動



# 授業づくりで心掛けたいこと

## 曾根原好彦『主眼』教育指導時報（令和6年10月号）より引用

長野県の指導案では、授業の「目標」や「ねらい」という言葉ではなく、「主眼」という言葉で記します。主眼には、本時で達成すべきねらいと、ねらいを達成する方法を端的に述べます。

- ・～の場面で、※本時の学習問題をあらわす
- ・～に着目し、※学習問題から学習課題へと練り上げるときの着目点（働かせる見方・考え方）を示す
- ・～を通して、※ここには、児童生徒の活動を単に記すのではなく、その教科・領域における追究（追求）の具体が見えるようにする
- ・～を見いだす、気付く、養う、身に付ける、理解する など  
※本時でつける力が、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成など、授業内容によって表現が変わる

主眼には、1時間の授業における目標と目標達成のための方法が示されている



目標達成のための方法を自分の力で見いだしていこうとする生徒（自立した学習者）を目指したい

# 授業づくりで心掛けたいこと

曾根原好彦『主眼』教育指導時報（令和6年10月号）より引用

学習問題

学習課題への着目点

緑色植物を入れた袋の空気は石灰水を変化させない理由を考える場面で、緑色植物が放出する気体に着目し、昼と夜に発生する気体を調べて呼吸と光合成の働きにより出入りする酸素と二酸化炭素の量を比べることを通して、光合成の方が呼吸よりも出入りする気体の量が多いので昼間は全体として二酸化炭素を放出しないことを見いだす。

理科における科学的な追究(比較)

思考力・判断力・表現力等、知識・技能

このように主眼を書こうと思うと、「学習問題がどうなるか、児童生徒はどんな点に着目して学習課題を導き出すか、どのように追究していくか、何を身に付けるか」が明確になっていないと記せません。教科書に載っている内容を、単になぞるように進めていく授業では、児童生徒の実態に合わない、教師主導の展開になってしまうことが予測できます。

よりよい授業を行うことは、教師として最も重要な仕事です。毎時間の指導案など書く暇はありませんが、「本時の主眼は何かな」と考えて授業に臨むことは必要だと思います。それを記しておく、毎年度の蓄積により、働き方改革につながります。私がどのように「楽<sup>らく</sup>」をして日々の授業づくりを行っていたのかは、いつか記したいと思います。

- 生徒の実態(生徒観)
- 素材の研究(教材観)
- 目標や指導内容(CSの理解)

→ これらすべてが必要不可欠

- 生徒はどのようなことができるようになるのか
- 教師は何を教えるのか
- 教師は何を教えないか

→ これらを考えることが大切



## 生徒の探究心を育む「教科横断的な学び」の創造

### 【講座学習】

- ・ 探究についての学習や講演会、生徒同士の異学年交流



## 生徒の探究心を育む「教科横断的な学び」の創造

### 【テーマ学習】 【ユニット学習】

- ・ テーマを解決するために教科の枠にとらわれずに追究する学習





# 10/18 中学校教育研究会（あさひのラーニング 公開授業内容）

38

## 1 学年

### 課題研究メソッドの活用



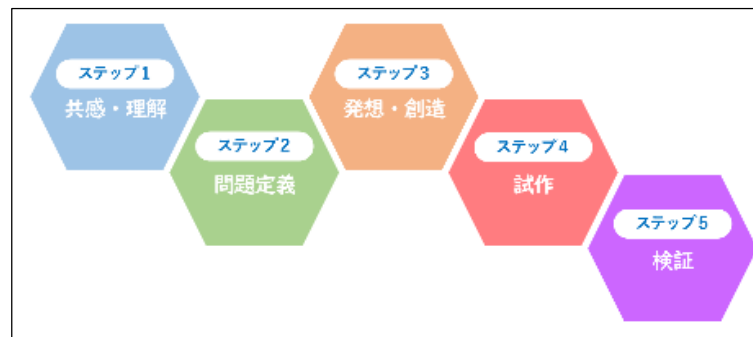
## 2 学年

### プロトタイプ製作



## 3 学年

### 地元企業との共同学習



# あさひのラーニングの様子

## 【講座学習】講演会 キャリア講座

『10年後の社会の未来像を描けますか？

～地元の会社も「わくわくする未来」を考えて働いています！』

株式会社牛越製作所 代表取締役 牛越弘彰 氏



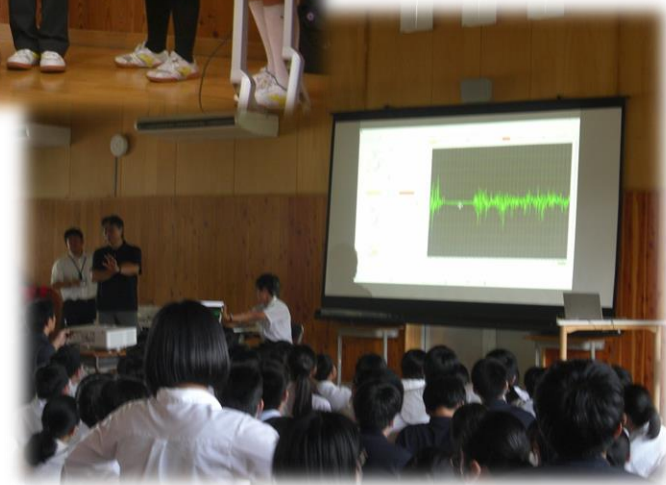


# あさひのラーニングの様子

## 【講座学習】講演会 STEAM講座

『昆虫の知能はAIを超えるか？～ファール昆虫記のなぞに迫る～』

東京大学名誉教授 先端研シニアリサーチフェロー 神崎亮平 氏



## 【講座学習】探究の「問い」を見いだそう（1学年）



<願い>

移動時間もその地域の特色を楽しみたい。

<問い>

何分止まる時間があれば、その地域ならではの特色を楽しむことができるのか。

- ・調べればすぐにわかるか
  - ・具体性はあるか
- という視点で「問い」を修正

車や新幹線が何分止まっていると、その地域ならではの特色を楽しむことができるのだろうか。



# あさひのラーニングの様子

## 【テーマ学習】 あったらいいな、こんなもの（2学年）



＜ターゲットの願い＞  
ロッカーを開けた時に、物が  
崩れ落ちるのを何とかしたい。



プロトタイプを試作・検証したことで、**ターゲットの本当の願い**を引き出せた

＜ターゲットの本当の願い＞  
ロッカーだけじゃなくて、  
引き出しもごちゃごちゃなんだよね…。

# あさひのラーニングの様子

## 【ユニット学習】 ラーメントッピングを開発しよう（3学年）



完成した乾燥食品を入れたときのイメージ図（イラスト）



協力していただいた企業に、提案したアイデアを基に実際にフリーズドライしていただいた試作品



# Ⅲ：プッシュ・アプローチ（あさひのプロジェクト）

研究紀要 P.34～37

44

## 様々な他者と関わり、協働しながら「自己の生き方」を考える



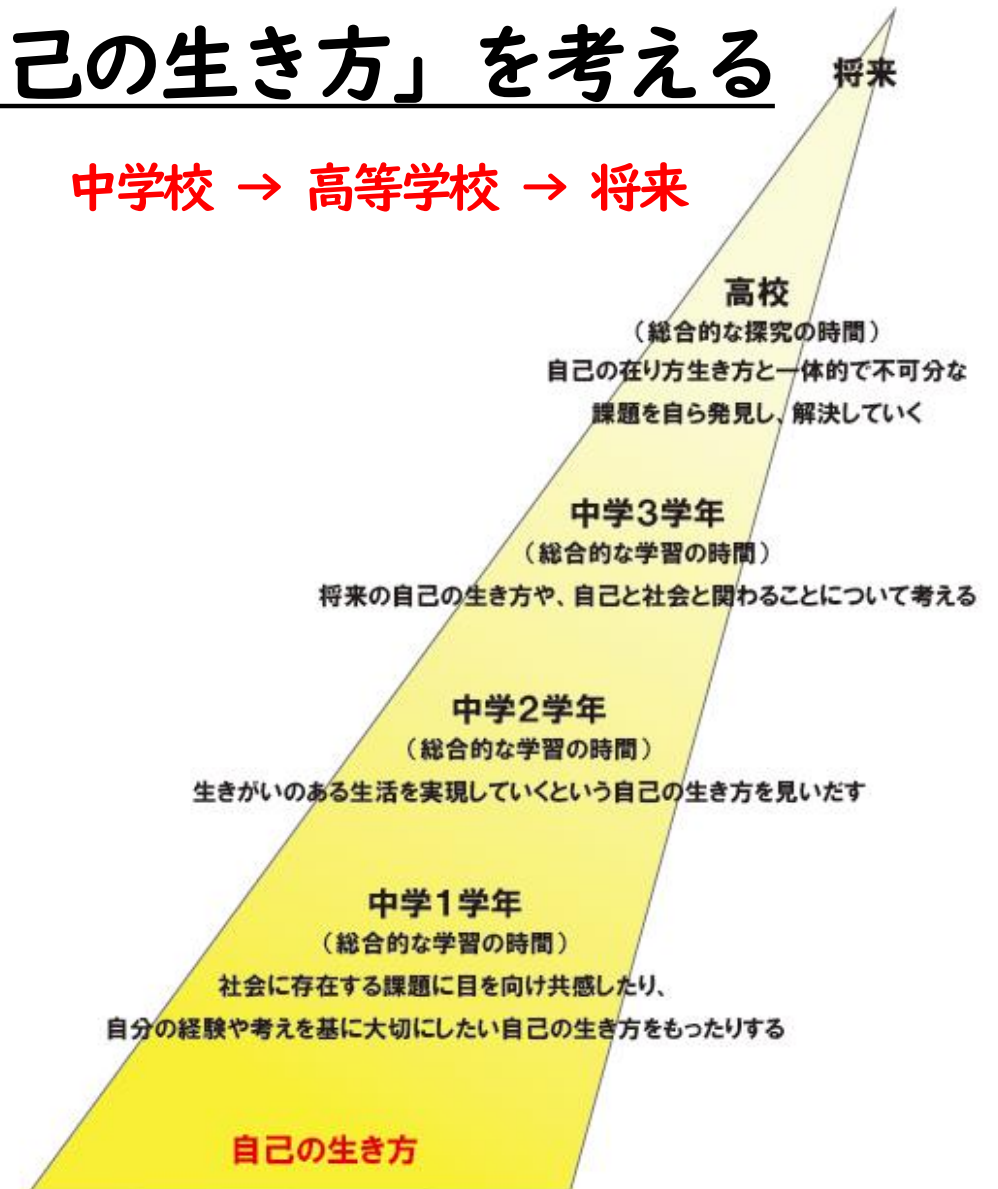
- ・大切にしたい「自己の生き方」を軸に  
「社会貢献」をテーマにした探究的な学習

## 様々な他者と関わり、協働しながら「自己の生き方」を考える



### ・中学校卒業後を見据えた学びの系統性

中学校 → 高等学校 → 将来





## 1 学年 分野別の活動報告



## 2 学年 異学年による情報交換



## 3 学年 チーム別の活動報告





# あさひのプロジェクトの様子(1学年)

## 【学校プロジェクトチーム】環境改善グループ



登下校で使用する通路の  
タイルがガタついていて  
歩きづらく、危ない…

信大工学部の先生、中野市の  
企業の方々と協働して、歩道  
のタイル張り替え作業を実施



# あさひのプロジェクトの様子(1学年)

## 【防災チーム】非常食グループ

### 私達の最初の問い

- ・非常食のイメージを変えることはできるのだろうか？
- ・みんなが美味しく食べれる非常食はどういうものか？



### テーマ

非常食のイメージを変えるために、種類・定義について知り、自分たちなりの非常食を考えよう！

### 災害時の食事

- 発災直後(72時間以内)フェーズ0~1 → いのちをつなぐ「エネルギー源となる炭水化物」⇨ **主食**
- フェーズ2(4日目)以降では... → 健康を維持
  - 「体を作るタンパク質」⇨ **主菜**
  - 「体の調子を整えるミネラル・ビタミン・食物繊維」⇨ **副菜**



**非常食の定義や種類、利用者のニーズを調査**

自分たちが作れる非常食の  
**発案・試作・検証**

### 私たちが考えた非常食

◎ 野菜入りマドレーヌ風カップケーキ

《用意するもの》

薄力粉100g 野菜(さつまいも、にんじんなど)各100g  
砂糖70g 油80ml ベーキングパウダー5g 卵2個

《作り方》

- ① 野菜をレンジで柔らかくなるまで温める
- ② 野菜をミキサーに入れ、卵を割り入れ混ぜる
- ③ 油と砂糖も入れ、混ぜる
- ④ ②③に薄力粉・ベーキングパウダー(蜂蜜)を入れ、混ぜる。
- ⑤ 170度で予熱したオーブンで25分焼く



《一週間後》

- ・冷凍:食べれた
- ・見た目に変化はなかった

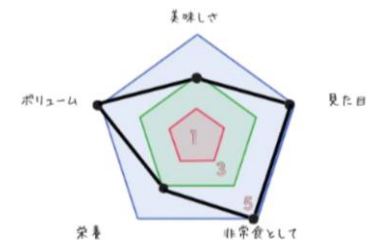
《二週間後》

- ・常温:しぼんで空気が無くなってきた
- ・少し酸っぱい匂いがし、糸が引いていた

《三週間後》

- ・冷凍:食べられたが、温めたほうが美味しい
- ・空気に触れていると固くなった(人参)

結果 さつまいもが早く食べられなくなってしまった。



# あさひのプロジェクトの様子（1 学年）

## 【農業チーム】販売・調理グループ



規格外の野菜や果物を積極的に消費することで、地産地消につなげていきたい！

繊維に関わることについて調べ、自分たちのできることで周囲の人に発信したい！



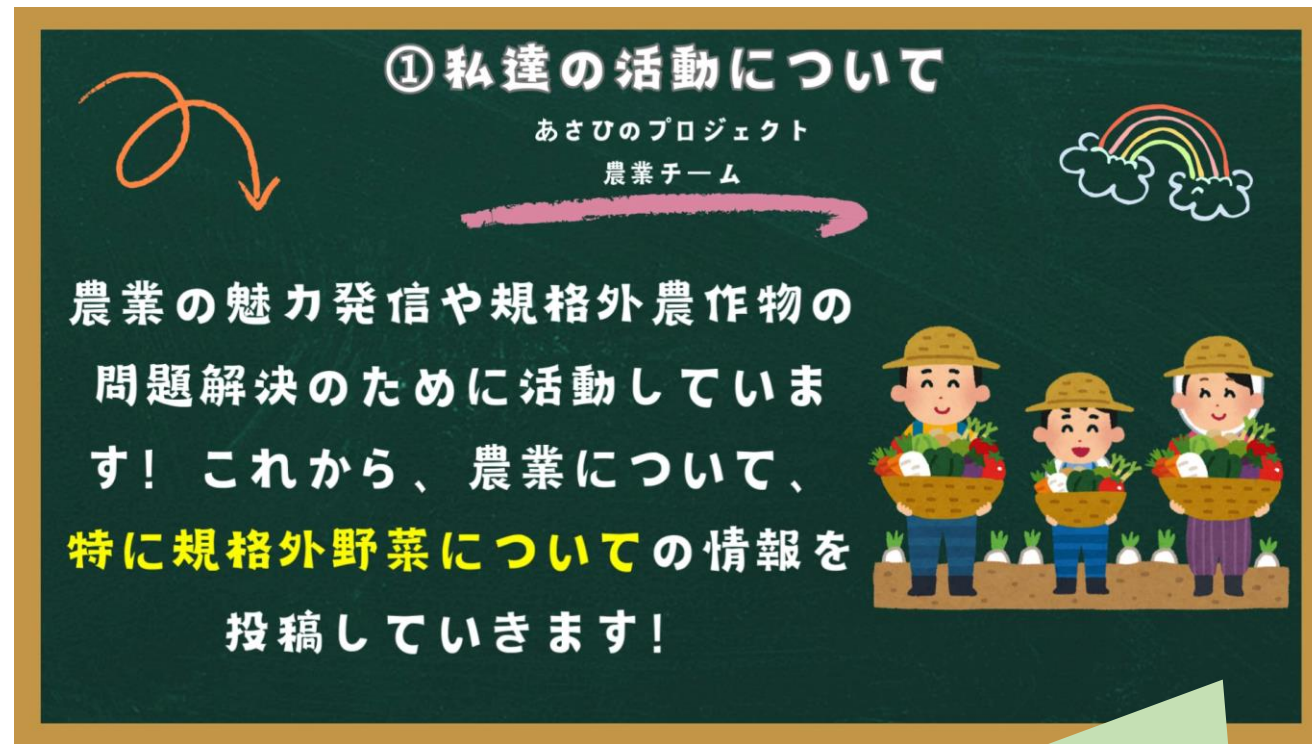
## 【繊維チーム】知りたいグループ



# あさひのプロジェクトの様子(1学年)

50

## 【農業チーム】広報グループ



規格外の野菜や果物について、**ポスターやSNS**  
**(ショート動画)**を用いて発信したい！





# あさひのプロジェクトの様子（2学年）

51

## 【社会体験学習】問いをもって行う職場体験



社会体験学習で学んだことを、**多様な他者**と共有したり、意見交換したりする

## 【ワークショップ】

社会体験学習にご協力いただいた事業所の方々を学校へ招き、2日間の社会体験学習から学んだことを発表したり、事業所の方々から意見をもらったりする活動（令和6年度は30名程度の参加あり）





# あさひのプロジェクトの様子(3学年)

## 《ミッション型》アイスチーム



## 信大付属長野中生 協力し開発中 ハーゲンダッツ社 りんごとアイス 特製パフェ



完成した焼きりんごパフェの出来栄を見て  
鈴木さん(右)と改善点を話し合う生徒たち

### 県内スーパーでレシピ公開へ

信州大付属長野中学校(長野市)の生徒たちがハーゲンダッツジャパン(東京)と協力し、同社のアイスクリームと信州のりんごを組み合わせたアレンジレシピを開発している。高級で手が届きづらいイメージがある「ハーゲンダッツ」をより身近に感じてほしいと、同社が同校に開発を提案。話し合う中でりんごの活用が決まった。レシピは秋以降、県内のスーパーで公開する予定だ。

社会貢献をテーマにした探 しいい食べ方の考案、長野電 究学習の一環。高野豆腐のお 鉄治線の魅力発信など3年生

生徒たちは、収穫から月日 がたったりんごでもおいしく 食べられるようバター風味の 焼きりんごを使い、アイスや りんごジャムと組み合わせた パフェを作ることになった。10 日の授業で一緒に盛り付けを 考えた同社営業本部の鈴木藍 さん(23)は「中学生と組んで 商品開発するのは社内でも聞 いたことがない。長野県の魅 力を伝えたい」と話した。

10月に校内で開くバザーで ドライフルーツのりんごを使 ったパフェを販売し、秋以降 に県内スーパーのアイス売り 場でレシピを紹介するカード を配布する予定。関陽奈乃さ ん(14)は「買ってもらえるの を想像しながら作っていま す」と意気込んでいる。



# あさひのプロジェクトの様子(3学年)

## 《プロジェクト型》 医療課題チーム



笑顔で募金を呼び掛ける清水さん(写真左)

病気と闘う子どもたちの存在知って

信大付属長野中3年生チームが募金活動

信州大付属長野中学校の3年生14人が11月2日、同校で開かれた「ワークシヨップ2024」で、小児がん患者支援の募金をしてくれた人にレモネードを手渡す「レモネード・スタンド」を行った。この活動のリーダーを務めたのは、血液の病気を経験した清水愛子さん(15)。清水さんは「小さな行動でも誰かの力になるということを知ってほしい」と、募金を呼び掛けた。

生徒自身が社会の課題について考え、学びを深める、同校独自の「あさひのプロジェクト」の一環。今年、

3年生は18チームに分かれて学習し、清水さんらは「社会の医療課題の解決」をテーマに「Smile」というチーム名で活動してきた。この日の「ワークシヨップ」はPTAバザーと同時開催で、生徒たちは多数の来場者に1年間の学びや成果を発表した。清水さんは小学6年の12月、遊びに行っていた祖父母宅で突然倒れた。信大医学部付属病院(松本市)で「急性の血液疾患」と告げられ、そのまま入院。

「小学校では皆勤賞を目指していた。病名を聞いた時は、まさか自分

が、という気持ちしかなかった」と言う。新型コロナウイルスの感染対策で家族との面会も制限されたため、ほぼ一人で入院生活を送り、小学校の卒業式、信大付属長野中の入学式も出席できなかった。

寂しさや薬の副作用の苦しさ、将来への不安を抱えた清水さんを支えたのは、主治医をはじめとする医療スタッフだった。「私も将来は医師

リーダーの清水愛子さん  
自らの闘病体験 糧に  
「レモネード」に思い込め

になつて病気の子どもを助けたい」。入院中に芽生えた思いを胸に治療を乗り越え、中学1年生の8月に退院。服薬しながらの時短通学を経て2年の秋、ようやく制限なく通学できるようになった。3年に進級前「あさひのプロジェクト」のテーマを話し合う場で、「病気と闘う子どもたちの存在を知ってもらいたい」とリーダーに手を挙げ、自らの闘病体験をもとに「Smile」の活動を進めてきた。

入院中に動画で見て知った「レモ



# あさひのプロジェクトの様子(3学年)

## 《プロジェクト型》 特殊詐欺被害防止チーム

### 信大付属中学生徒が講習会 特殊詐欺防止を啓発



参加者と詐欺対策を議論する生徒

信大付属長野中学校の3年生2人が9月18日、探究の授業の一環で特殊詐欺をテーマにした講習会を西尾張部のかがやきひろば三陽(三陽老人福祉センター)で開いた。特殊詐欺被害防止の活動を展開している長野市内の男性有志グループ「ながの男の脳喝倶楽部(のうかつくらぶ)」のメンバー9人が聴講した。

2人は春日博登(ひろと)さんと石島悠太(しゅうた)さん。グループ別に学ぶ探究の授業で本年度、他の生徒3人と共に特殊詐欺被害防止の啓発活動を選択。長野中央署の協力で街頭啓発を4回

行った。講習会は同署の資料を基に被害状況などをまとめて準備したが、他の3人は都合で参加できなかった。

講習会では、昨年の県内被害額を「前年の約2倍」と説明。同署から提供された詐欺電話の音声録音を流して詐欺の手口を紹介した上で聴講者に対策法を議論し、「お金絡む電話は疑う」などの意識を共有した。

同倶楽部メンバーも特殊詐欺への注意を促す替え歌の制作・普及活動について紹介し、替え歌を披露した。

春日さんは「参加者と同じ目線で議論がで



# あさひのプロジェクトの様子(3学年)

## 《プロジェクト型》 車いすバスケットチーム



参加者と車いすバスケットを体験する生徒(手前右)ら

## 車いすバスケット 楽しもう

### 信大付属長野中生が体験会を企画

長野市の信州大付属長野中学校の3年生13人が9日、車いすバスケットボールの体験会を市内で開いた。障害者スポーツの認知度向上や共生社会の実現を目指し、企画と運営を担った。体験会には市内の小学生ら14人が参加。生徒は車いすの操作方法を教え、競技の魅力を伝えた。

### 共生社会 実現目指し

社会貢献をテーマにした総合的な学習の時間「あさひのプロジェクト」の一環。授業は地域活性化などのテーマに応じてチームに分かれて学んでいる。大半がバスケット経験者だったこのチームは、車いすバスケットの体験会を立案した。

この日の体験会では、信州大の車いすバスケットチーム「SEEROWS(セロウズ)」のメンバーとともに競技のルールや魅力を説明。参加者同士で試合形式のミニゲームを楽しむ場面もあり、マイクを持

った生徒が「頑張ってください」「ナイスカット」などと言いつつ、盛り上げた。チーム代表の山本史佳さん(14)は「イベントの準備がこんなに大変だとは思わなかった。障害のあるなしに関係なく、参加者には楽しんでもらえた」と手応えを話した。

生徒たちは春から体験会の準備を進め、参加者を募る新聞広告の制作や運営ノウハウも学習。信濃毎日新聞社などでつくる「長野SDGsプロジェクト実行委員会」が協力した。



# 「探究」について考えてきて…

56

探究について自由に  
語り合いませんか？

附属長野中学校プレゼンツ

## 探究学習カフェ



令和6年10月18日（金）公開当日 12:45-14:30\*

\*「あさひのプロジェクト」公開授業と同時開催

参加  
無料

- |    |                          |
|----|--------------------------|
| 対象 | 公開参会者なら誰でもOK！            |
| 定員 | ありません！いつでも対応します！         |
| 会場 | 附属長野ランチルーム（レモネードスタンドとなり） |

本校職員\*\*と探究について気軽に交流ができます！

探究学習ってどんな準備をしたらいいの？など

今気になる事や悩みなどを自由に語り合しましょう！

\*\* 研究主任、あさひのラーニング授業者、各学年のあさひのプロジェクト（総合的な学習の時間）実践者を予定



教職員同士、生徒と教職員が  
語り合える環境づくりが大切



# 教職員同士が語り合える環境づくり

57

探究について自由に語り合いませんか？

附属長野中学校プレゼンツ

## 探究学習カフェ

令和6年10月18日（金）公開当日 12:45-14:30\*

\*「あさひのプロジェクト」公開授業と同時開催

**参加無料**

|    |                          |
|----|--------------------------|
| 対象 | 公開参加者なら誰でもOK！            |
| 定員 | ありません！いつでも対応します！         |
| 会場 | 附属長野ランチルーム（レモネードスタンドとなり） |

本校職員\*\*と探究について気軽に交流ができます！  
探究学習ってどんな準備をしたらいいの？など  
今気になる事や悩みなどを自由に語り合しましょう！

\*\* 研究主任、あさひのラーニング授業者、各学年のあさひのプロジェクト（総合的な学習の時間）実践者を予定

「探究学習カフェ」  
大好評のため  
第2弾を開催！

## 信州大学教育学部附属長野中学校オンライン交流会2024

### こんなお悩みやご要望、ありませんか？

- 「思考・判断・表現」や「主体的に取り組む態度」の評価について知りたい
- 定期テストの内容や記述問題を工夫したい
- ICT機器を活用した生徒が主体的に取り組む授業をしたい
- 他県の附属学校がどんな研究や取組をしているのか知りたい

### 私たちと一緒に語りませんか？

**【第1弾】各教科の授業づくりや評価の工夫**

2024. 7/26(金) 13:00～14:00

**【第1弾】は終了しました**

A: 国語 B: 社会 C: 数学 D: 理科 E: 音楽 F: 美術 G: 保健 H: 技家 I: 英語 J: 道徳

**【第2弾】探究学習カフェ（県外視察報告を含む）**

2024. 12/16(月) 16:30～17:30

＜下記キーワードをもとに自由に語り合うカフェスタイルで実施＞

#研究全体 #探究的な学習 #STEAM教育 #キャリア教育 #授業づくり  
#あさひのラーニング #あさひのプロジェクト（総合的な学習の時間）

**開催方法** オンライン開催※  
※WEB会議システム「Zoom」を使用します

**申込方法** 本校HPもしくは右記のQRコードより

**申込締切** 開催日の前日まで

本交流会の詳細は本校HPでご確認ください

【お問い合わせ】  
信州大学教育学部附属長野中学校 研究主任 中村／広報担当 柳澤  
Tel 026-243-0633 Mail nc\_jimukyoku@shinshu-u.ac.jp

**参加費 無料**

申込QRコード



# 信州大学教育学部附属長野中学校 オンライン交流会2024



私たちと一緒に語りませんか？

参加  
無料

2024. 12/16 (月) 16:30~17:30

【第2弾】探究学習カフェ（県外視察報告を含む）

信州大学教育学部附属長野中学校  
オンライン交流会2024に  
ご参加いただき誠にありがとうございます

開始時刻 16:30

マイクをミュートにして  
交流会開始まで  
今しばらくお待ちください

## 《参加者の皆様へのお願い》

- ・表示名を右のように変更をお願いします  
（ブレイクアウトルームの割り振りに使用します）
- ・画面の写真撮影・スクリーンショットや  
録音・録画はご遠慮ください
- ・現在、音楽が流れておりますので  
お待ちの間に音量のご確認をお願いします

【表示名の例】

A F 信州太郎（数学）



お名前

教科

【第2部】参加希望ブレイクアウトルーム

【第1部】参加希望ブレイクアウトルーム

♪全校合唱（全校追究曲）  
「光の走者よ」



信州大学  
SHINSHU UNIVERSITY

教育学部  
附属長野中学校

# 《 本日の日程 および ブレイクアウトルーム一覧 》

## 探究学習カフェ【第1部】 16:30～17:00

16:30～16:35 全体説明（移動を含め5分）

16:35～17:00 ブレイクアウトルームごと情報交換（25分） 話題提供：県外の附属学校等の取組紹介

A：STEAM B：探究 C：カリキュラム D：キャリア E：授業づくり

## 探究学習カフェ【第2部】 17:00～17:30

17:00～17:05 全体説明（移動を含め5分）

17:05～17:30 ブレイクアウトルームごと情報交換（25分） 話題提供：本校の研究実践報告

F：問いの立て方 G：デザイン思考 H：教科横断（STEAM）  
I：探究①（総合的な学習の時間） J：探究②（カリキュラム開発）

## 《参加者の皆様へのお願い》

- ・表示名を右のように変更をお願いします  
（ブレイクアウトルームの割り振りに使用します）
- ・画面の写真撮影・スクリーンショットや  
録音・録画はご遠慮ください
- ・現在、音楽が流れておりますので  
お待ちの間に音量のご確認をお願いします

【表示名の例】

A F 信州太郎（数学）

↑

↑

お名前

教科

【第2部】参加希望ブレイクアウトルーム

【第1部】参加希望ブレイクアウトルーム

♪全校合唱（全校追究曲）  
「光の走者よ」



信州大学  
SHINSHU UNIVERSITY

教育学部  
附属長野中学校



# 教職員同士が語り合える環境づくり

60

## 信州大学教育学部附属長野中学校オンライン交流会2024

こんなお悩みやご要望、ありませんか？

「思考・判断・表現」や  
「主体的に取り組む態度」  
の評価について知りたい

定期テストの  
内容や記述問題を  
工夫したい

ICT機器を活用した  
生徒が主体的に取り組む  
授業をしたい

他県の附属学校が  
どんな研究や取組を  
しているのか知りたい



私たちと一緒に語りませんか？

【第1弾】各教科の授業づくりや評価の工夫

2024. 7/26(金) 13:00～14:00

<ブレイクアウトルームの例>

A: 国語 B: 社会 C: 数学 D: 理科 E: 音楽 F: 美術 G: 保健 H: 技家 I: 英語 J: 道徳

【第2弾】探究学習カフェ（県外視察報告を含む）

2024. 12/16(月) 16:30～17:30

<下記キーワードをもとに自由に語り合うカフェスタイルで実施>

#研究全体 #探究的な学習 #STEAM教育 #キャリア教育 #授業づくり  
#あさひのラーニング #あさひのプロジェクト（総合的な学習の時間）

開催方法 オンライン開催※

※WEB会議システム「Zoom」を使用します

申込方法 本校HPもしくは  
右記のQRコードより

申込締切 開催日の前日まで

本交流会の詳細は本校HPでご確認ください

【お問い合わせ】

信州大学教育学部附属長野中学校 研究主任 中村／広報担当 柳澤  
Tel 026-243-0633 Mail nc\_jimukyoku@shinshu-u.ac.jp

参加費  
無料



申込QRコード

好評につき  
第2弾開催！

探究について自由に  
語り合いませんか？

附属長野中学校プレゼンツ

探究学習カフェ



令和6年12月16日（月）16:30～17:30\*

\*オンライン交流会【第2弾】として開催

参加  
無料

対象 教育関係者なら誰でもOK！

定員 ありません！

会場 オンライン開催（※WEB会議システム「Zoom」を使用）

本校職員\*\*と探究について気軽に交流ができます！

探究学習ってどんな準備をしたらいいの？など  
今気になる事や悩みなどを自由に語り合しましょう！

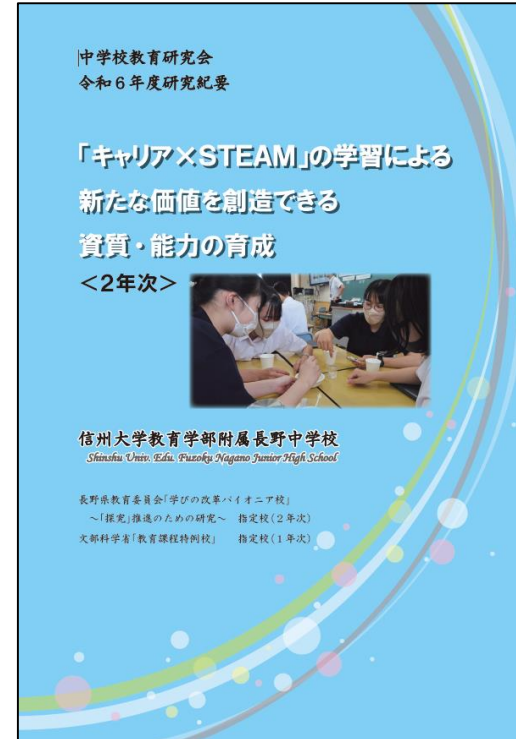
\*\* 研究主任、あさひのラーニング授業者、各学年のあさひのプロジェクト（総合的な学習の時間）実践者を予定

来年度もぜひ一緒に  
語り合いましょう！



令和5年度  
「あさひのプロジェクト」  
成果報告書

配付終了（在庫なし）



中学校教育研究会  
令和6年度  
研究紀要

配付中（在庫あり）



令和6年度  
「あさひのプロジェクト」  
成果報告書

3月発刊予定